

色の授業が変わる!?

『デジタル版色彩事典』の
活用事例インタビュー

今号では、『デジタル版色彩事典』を実際に授業で活用されている先生にインタビュー。授業での取り入れ方や生徒の反応など、リアルな声をお届けします。

私がお答えします



もりや
守屋 邦映 先生
広島大学附属中・高等学校 教諭
(広島県広島市)
2022年から同校に勤務。
全生徒はiPadを使用。

体験版や
商品詳細は
こちら！



色の学習をより楽しく簡単に！
目的に合わせて活用できる、9つの学習コンテンツからなるデジタル教材です。
インストール不要のブラウザ閲覧なのでタブレット、PCなど機種を選ばず利用可能。
ご興味のある方は、お気軽にお問合せください。

Q.1 『デジタル版色彩事典』を実際に授業でどう活用しましたか？
具体的にどんなコンテンツを使いましたか？

A おもに、色の二大別や三属性について理解する学習に使用しました。今回は「色図鑑」の制作という題材に取り組んだので、生徒が自分の選んだ1色について調べる探究活動にも活用することができました。「色の特徴や性質を理解し、色が心にもたらす働きや生活との関わりなどについて考えることを通じて色に対する見方や感じ方を広げる」という目標に、大いに役立ちました。

授業の大まかな流れは以下の通りです。



1時間目 導入

日常の事例から、色が心にもたらす働きについて考える。

身の回りの色の意味や効果について考える。

(引っ越しの段ボールが白いのはなぜ？ 青は冷たそう、赤は温かそうに感じるのはなぜ？ など)

展開 1-1

色の二大別を体感する。

生徒各自で『デジタル版色彩事典』を用い、複数の色を2グループに分別する（温かそう/冷たそう、元気/おとなしめ、など）。分類ができたら理由を記入し、画面をスクリーンショットしたのちGoogle classroomに提出。各自の考えを全体で共有する。

デジタル版色彩事典
使用コンテンツ
色分けゲーム



展開 1-2

色の三属性を理解する。

デジタル版色彩事典
使用コンテンツ

色相環、色立体

『デジタル版色彩事典』を使い、生徒ひとりひとりが色の三属性について、体験的に理解する。



2時間目 展開 2

色図鑑を制作する。

デジタル版色彩事典
使用コンテンツ

カラーカードなど

生徒各自が色をひとつ選び、さまざまな視点で調べ、ワークシートにまとめる（色の三属性、心理的効果、ほかの色との関係など）。全員分の成果物をまとめて色図鑑に。



まとめ

まとめた内容を班内で共有する（今日知って面白かったこと、ほかの人伝えたいことなど）。

Q.2 『デジタル版色彩事典』を活用してみて、生徒の反応はどうでしたか？



A

思った以上に、生徒たちは楽しそうに操作をしていましたね。生徒それぞれが、自分の気になることや知りたいことについて操作をし、活動に取り組む姿がすごく印象的でした。「自分でとことん追求して学ぶ」という授業が、これまでの色彩学習ではできていなかったので、とても新鮮です。

今後は制作の中で、例えばアイデアスケッチだったり、色を確認したりするときにも『デジタル版色彩事典』を活用したいと思います。



もりなが
森長 俊六 先生
広島大学客員准教授
『デジタル版色彩事典』監修者

守屋先生の授業をご覧になって

生徒がそれぞれの手元で色を直感的に操作し、他者と共有することによっていろいろな見方や感じ方を広げることができる授業でした。選んだ色について調べる際も有効に活用していたようです。

このソフトは色の特徴や性質を簡単に体感することができ、親しみながら色に対する理解を深めることができます。

もっと知りたい！『デジタル版色彩事典』

授業の様子や
先生のインタビュー
動画はコチラ▶



『デジタル版
色彩事典』の
パンフレットは
コチラ▶



秀学社の
サイトは
コチラ▶

